



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 東北特殊鋼株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5484 URL <http://www.tohokusteel.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 真司  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 佐藤 高彰 TEL 0224-82-1010  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月29日 配当支払開始予定日 2020年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	19,531	△3.4	1,946	△11.1	1,998	△11.7	1,459	△9.1
2019年3月期	20,228	△0.9	2,190	△14.0	2,262	△15.2	1,606	△15.7

(注) 包括利益 2020年3月期 1,307百万円 (△13.1%) 2019年3月期 1,503百万円 (△19.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	193.88	—	6.3	7.1	10.0
2019年3月期	213.38	—	7.4	8.3	10.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	28,762	23,582	82.0	3,132.31
2019年3月期	27,604	22,463	81.4	2,983.66

(参考) 自己資本 2020年3月期 23,582百万円 2019年3月期 22,463百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,373	△2,060	△189	5,642
2019年3月期	1,638	△999	△197	5,550

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	180	11.2	0.8
2020年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00	195	13.4	0.9
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定です。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では未定です。

詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	7,550,000株	2019年3月期	7,550,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	21,071株	2019年3月期	21,041株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	7,528,954株	2019年3月期	7,528,959株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	16,410	△3.9	1,130	△19.6	1,216	△19.6	935	△17.5
2019年3月期	17,071	△0.2	1,405	△21.0	1,512	△23.0	1,133	△21.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	124.19	—
2019年3月期	150.51	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	18,755	16,496	88.0	2,191.10
2019年3月期	18,174	15,802	86.9	2,098.92

(参考) 自己資本 2020年3月期 16,496百万円 2019年3月期 15,802百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があることをお含みおきください。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
役員の異動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半は雇用・所得環境が改善基調にあったものの、国内消費に持ち直しの動きはみられず、米中貿易摩擦の影響により輸出が弱含む中、年度末にかけては新型コロナウイルスの感染拡大によって経済活動の停滞感が急速に強まりました。

特殊鋼業界の主要な需要先である自動車産業では、国内販売が落ち込むとともに中国・アジアにおける販売も伸び悩むなど、国内外ともに減少基調となりました。

このような環境の中、当社グループの特殊鋼事業では磁性材の輸出は堅調さを維持したものの、耐熱鋼については国内外ともに販売量は減少いたしました。

不動産賃貸事業につきましては、一層のサービス向上に努め、業績は安定的に推移いたしました。

その結果、当連結会計年度における売上高は前連結会計年度比696百万円減の19,531百万円となりました。経常利益は前連結会計年度比263百万円減の1,998百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比146百万円減の1,459百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ○特殊鋼事業

売上高は前連結会計年度比701百万円減の17,242百万円、セグメント利益（営業利益）は220百万円減の840百万円となりました。

## ○不動産賃貸事業

売上高は前連結会計年度比5百万円増の2,289百万円、セグメント利益（営業利益）は23百万円減の1,106百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度に比べ1,158百万円増加し、28,762百万円となりました。主な要因は次のとおりであります。

- ・債券及び投資信託の購入等により投資有価証券が1,298百万円増加しております。
- ・インド子会社の工場稼働開始等により機械装置及び運搬具が397百万円増加しております。
- ・足元の鋼材製品の売上減少や、一部取引先の決済方法が電子記録債権に移行したこと等により、受取手形及び売掛金が672百万円減少、電子記録債権が283百万円増加しております。

## (負債)

当連結会計年度の負債は、前連結会計年度に比べ39百万円増加し、5,180百万円となりました。主な要因は次のとおりであります。

- ・工事代金の支払等により設備関係支払手形（流動負債その他）が62百万円増加しております。

## (純資産)

当連結会計年度の純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益1,459百万円を主な要因として、前連結会計年度に比べ1,119百万円増加し、23,582百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.4%から0.6ポイント上昇し、82.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ92百万円増加し、5,642百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金収支は、2,373百万円の増加（前連結会計年度は1,638百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前当期純利益2,022百万円に、プラス要因として、減価償却費725百万円、売上債権の減少額381百万円、マイナス要因として、法人税等の支払額605百万円等を調整した結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金収支は、2,060百万円の減少（前連結会計年度は999百万円の減少）となりました。これは、プラス要因として、投資有価証券の売却による収入169百万円、マイナス要因として、有形固定資産の取得による支出913百万円、投資有価証券の取得による支出1,508百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金収支は、189百万円の減少（前連結会計年度は197百万円の減少）となりました。これは、配当金の支払額188百万円等によるものであります。

なお、当企業集団のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	79.4	81.4	82.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	56.3	38.2	32.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	25,293.8	28,258.0	240,711.5

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

- ・各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- ・株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。
- ・営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、米国やEU、アジアなどで成長率の予測が下方修正され、国内でも緊急事態宣言の発令による経済活動の長期停滞が予想されるなど、全世界的に大幅な景気後退が見込まれております。

さらに、国内特殊鋼業界においては、海外材料メーカーとの競争激化や急速に加速しつつあるEVなどの次世代自動車化等、直面している課題は多くあります。

当社グループの特殊鋼事業におきましては、急速な自動車需要の減少や、先行き不透明な半導体関連需要など、非常に厳しい環境にありますが、磁歪クラッド鋼板等当社独自の技術を基礎とした製品開発や、熱圧着事業における用途開発を推進するとともに、耐熱鋼・磁性材の生産弾力性の強化を進めてまいります。また、材料から加工までを行う一貫製造のノウハウを活かした高付加価値製品の市場開発に努めるとともに、生産工程におけるコスト削減・自動化・効率化を更に推し進め、収益改善を図ってまいります。さらに、海外での事業展開につきましては、インド子会社の安定生産に向けた取組みも進めてまいります。

これらの施策を通じ、グローバルブランドの確立を目指しつつ、良き企業市民としてコンプライアンス、環境保全などに積極的に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

翌連結会計年度（2021年3月期）の業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから、未定といたします。開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準について、期間比較可能性等を考慮して日本基準を適用しております。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、今後の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,450,316	5,392,360
受取手形及び売掛金	3,234,665	2,561,740
電子記録債権	793,646	1,076,798
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	330,156	389,890
仕掛品	1,004,079	1,099,076
原材料及び貯蔵品	914,640	869,307
その他	72,179	108,827
貸倒引当金	△275	△270
流動資産合計	12,299,408	11,997,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,587,788	5,240,506
機械装置及び運搬具(純額)	1,641,045	2,038,808
工具、器具及び備品(純額)	116,086	129,071
土地	2,276,891	2,272,517
建設仮勘定	565,661	656,682
その他(純額)	19,872	16,671
有形固定資産合計	10,207,345	10,354,258
無形固定資産	106,250	111,212
投資その他の資産		
投資有価証券	4,528,660	5,827,526
従業員長期貸付金	1,797	1,724
繰延税金資産	246,506	233,872
その他	217,182	239,534
貸倒引当金	△2,715	△2,863
投資その他の資産合計	4,991,432	6,299,793
固定資産合計	15,305,028	16,765,264
資産合計	27,604,437	28,762,996

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,511,715	1,515,138
未払法人税等	315,212	239,427
賞与引当金	339,140	316,137
役員賞与引当金	8,440	9,000
その他	801,095	893,746
流動負債合計	2,975,603	2,973,450
固定負債		
長期預り金	1,846,624	1,846,624
修繕引当金	260,745	294,810
退職給付に係る負債	51,634	61,371
その他	5,965	3,831
固定負債合計	2,164,969	2,206,637
負債合計	5,140,573	5,180,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,500	827,500
資本剰余金	560,993	560,993
利益剰余金	20,766,641	22,038,099
自己株式	△18,272	△18,316
株主資本合計	22,136,862	23,408,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	407,462	367,800
為替換算調整勘定	△80,462	△193,168
その他の包括利益累計額合計	327,000	174,631
純資産合計	22,463,863	23,582,908
負債純資産合計	27,604,437	28,762,996

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	20,228,229	19,531,941
売上原価	16,259,873	15,903,747
売上総利益	3,968,355	3,628,193
販売費及び一般管理費		
発送運賃及び荷造費	438,714	362,953
給料及び手当	467,165	470,262
退職給付費用	14,816	19,358
賞与引当金繰入額	83,383	79,409
役員賞与引当金繰入額	8,440	9,000
その他	765,193	740,343
販売費及び一般管理費合計	1,777,713	1,681,328
営業利益	2,190,642	1,946,865
営業外収益		
受取利息	49,752	34,145
受取配当金	29,283	31,382
仕入割引	29,292	28,961
為替差益	14,743	—
受取技術料	18,666	18,666
その他	19,180	20,771
営業外収益合計	160,919	133,928
営業外費用		
売上割引	12,185	10,629
為替差損	—	23,769
減価償却費	12,726	8,514
固定資産除却損	30,248	14,658
支払手数料	8,786	10,059
診療所会計損失	7,435	4,908
その他	17,530	9,461
営業外費用合計	88,914	82,001
経常利益	2,262,647	1,998,792
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23,697
特別利益合計	—	23,697
税金等調整前当期純利益	2,262,647	2,022,490
法人税、住民税及び事業税	639,145	533,337
法人税等調整額	16,990	29,470
法人税等合計	656,135	562,807
当期純利益	1,606,511	1,459,682
親会社株主に帰属する当期純利益	1,606,511	1,459,682

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,606,511	1,459,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,801	△39,661
為替換算調整勘定	△23,017	△112,706
その他の包括利益合計	△102,819	△152,368
包括利益	1,503,692	1,307,313
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,503,692	1,307,313

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	827,500	560,993	19,355,882	△18,272	20,726,104
当期変動額					
剰余金の配当			△195,752		△195,752
親会社株主に帰属する当期純利益			1,606,511		1,606,511
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,410,758	—	1,410,758
当期末残高	827,500	560,993	20,766,641	△18,272	22,136,862

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	487,264	△57,444	429,820	21,155,924
当期変動額				
剰余金の配当				△195,752
親会社株主に帰属する当期純利益				1,606,511
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△79,801	△23,017	△102,819	△102,819
当期変動額合計	△79,801	△23,017	△102,819	1,307,939
当期末残高	407,462	△80,462	327,000	22,463,863

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	827,500	560,993	20,766,641	△18,272	22,136,862
当期変動額					
剰余金の配当			△188,223		△188,223
親会社株主に帰属する当期純利益			1,459,682		1,459,682
自己株式の取得				△44	△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,271,458	△44	1,271,413
当期末残高	827,500	560,993	22,038,099	△18,316	23,408,276

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	407,462	△80,462	327,000	22,463,863
当期変動額				
剰余金の配当				△188,223
親会社株主に帰属する当期純利益				1,459,682
自己株式の取得				△44
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△39,661	△112,706	△152,368	△152,368
当期変動額合計	△39,661	△112,706	△152,368	1,119,044
当期末残高	367,800	△193,168	174,631	23,582,908

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,262,647	2,022,490
減価償却費	705,642	725,632
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△592	142
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,266	△22,717
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,890	560
修繕引当金の増減額 (△は減少)	28,295	34,065
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,394	9,737
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△29,962	—
受取利息及び受取配当金	△79,036	△65,528
支払手数料	8,786	10,059
為替差損益 (△は益)	△16,200	27,000
投資有価証券売却損益 (△は益)	3,779	△24,093
固定資産除却損	30,248	14,658
売上債権の増減額 (△は増加)	△239,847	381,945
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△173,084	△113,812
仕入債務の増減額 (△は減少)	△176,166	8,994
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△54,775	46,285
その他の資産の増減額 (△は増加)	20,995	△60,564
その他の負債の増減額 (△は減少)	42,107	△73,894
その他	1,837	4,433
小計	2,329,915	2,925,394
利息及び配当金の受取額	99,427	63,327
法人税等の支払額	△781,931	△605,477
その他	△8,844	△10,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,638,566	2,373,174
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	823,516	50,000
有価証券の取得による支出	△200,000	—
有価証券の償還による収入	300,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,163,705	△913,133
無形固定資産の取得による支出	△28,569	△47,640
投資有価証券の取得による支出	△801,965	△1,508,116
投資有価証券の売却による収入	29,524	169,386
投資有価証券の償還による収入	50,172	102,990
従業員に対する貸付けによる支出	△1,600	△1,200
従業員に対する貸付金の回収による収入	442	1,173
その他	△7,427	△13,549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△999,611	△2,060,089
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△195,651	△188,064
その他	△2,106	△1,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	△197,757	△189,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,771	△31,250
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	446,968	92,043
現金及び現金同等物の期首残高	5,103,347	5,550,316
現金及び現金同等物の期末残高	5,550,316	5,642,360

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、当社を中心に各種特殊鋼鋼材の製造・販売を主たる事業とする一方で、当社旧長町工場跡地を再開発し、子会社において不動産賃貸業を展開しております。

したがって、当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「特殊鋼事業」、「不動産賃貸事業」の2つを報告セグメントとしております。

「特殊鋼事業」は、主に自動車関連製品向けの耐熱鋼、磁性材料等を製造しているほか、機械加工、熱処理加工を行っております。「不動産賃貸事業」は、主に大型商業施設や賃貸住宅等を賃貸し、メンテナンス業務を請負っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	特殊鋼事業	不動産賃貸事業	合計	調整額	連結財務諸表計上額
売上高					
外部顧客への売上高	17,944,619	2,283,609	20,228,229	(-)	20,228,229
セグメント間の内部売上高または振替高	-	-	-	(-)	-
計	17,944,619	2,283,609	20,228,229	(-)	20,228,229
セグメント利益	1,060,854	1,129,788	2,190,642	(-)	2,190,642
セグメント資産	12,547,744	9,606,333	22,154,077	5,450,359	27,604,437
その他の項目					
減価償却費	424,664	280,978	705,642	(-)	705,642
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,147,740	25,947	1,173,688	(-)	1,173,688

(注) 1. セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産 (5,450,359千円) の主なものは、連結財務諸表提出会社での余資運用資金 (現預金及び有価証券) であります。

2. セグメント利益の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	特殊鋼事業	不動産賃貸 事業	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
売 上 高					
外部顧客への売上高	17,242,660	2,289,280	19,531,941	(-)	19,531,941
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	-	-	(-)	-
計	17,242,660	2,289,280	19,531,941	(-)	19,531,941
セグメント利益	840,517	1,106,348	1,946,865	(-)	1,946,865
セグメント資産	12,703,923	10,245,687	22,949,610	5,813,385	28,762,996
その他の項目					
減価償却費	443,668	281,963	725,632	(-)	725,632
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	922,147	50,448	972,596	(-)	972,596

(注) 1. セグメント資産の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産（5,813,385千円）の主なものは、連結財務諸表提出会社での余資運用資金（現預金及び有価証券）であります。

2. セグメント利益の合計は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（1株当たり情報）

区分	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額（円）	2,983.66	3,132.31
1株当たり当期純利益（円）	213.38	193.88
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	潜在株式が存在しないため、記載して おりません。	潜在株式が存在しないため、記載し ておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,606,511	1,459,682
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益（千円）	1,606,511	1,459,682
普通株式の期中平均株式数（株）	7,528,959	7,528,954

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

- ① 代表取締役の変動  
該当事項はありません。
  
- ② その他の役員の変動  
該当事項はありません。

以上